



05

— 参考資料 —

- 施策分野別成果指標の定義等
- 計画の実現に向けた進行管理
- 長泉町の魅力と課題
- 第5次総合計画策定体制
- 第5次総合計画策定経過
- 諮問・答申
- 長泉町総合計画審議会 委員名簿

施策分野別成果指標の定義等

施策分野	成果指標	測定方法・出典等	定義	現状値	現状値把握年	目標値(2025)	目標値設定の考え方	備考	
1	健康づくり	10分以上連続した健康づくりに週1日以上、取り組んでいる町民の割合	住民意識調査	「あなたは平均的な1週間で10分以上続けて歩くことは何日ありますか」という質問に対し「ない」または無回答以外の者の割合	75.4%	2020	80%	直近5カ年における最高値77.1%(H29年度)を上回る80%を目指す	健康増進課
		生活習慣病による死亡率	静岡県人口動態統計	特定健診の対象年齢である40歳～74歳の死亡者のうち、脳血管疾患及び悪性新生物、心疾患により死亡した者の割合	71.3%	2017	65%	健康教育や各種検診事業の成果により、概ね70人程度までの減を目指す	健康増進課
2	保健・医療	特定健康診査の受診率	特定健康診査・特定保健指導実施結果報告	特定健診対象者のうち受診した者の割合	48%	2019	55%	第2次データヘルス計画(R5年目標)に基づき、毎年1.4%程度の増を目指す	健康増進課
		特定保健指導の実施率	特定健康診査・特定保健指導実施結果報告	特定保健指導対象者のうち初回面談を実施した者の割合	30%	2019	50%	第2次データヘルス計画(R5年目標)に基づき、毎年3%程度の増を目指す	健康増進課
		がん検診精密検査平均受診率	担当課調査	肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん及び乳がん検診で要再検査の結果が出た者のうち精密検査を受けた者の平均の割合	83.8%	2019	90%	受診勧奨の強化により、毎年1%程度の増を目指す	健康増進課
3	地域福祉	普段生活する中で特に悩みや不安を感じていない町民の割合	住民意識調査	「普段生活する中で、特に悩みや不安を感じていますか」という質問に対し、「特に悩みや不安は感じていない」と回答した者の割合	14.8%	2017	16%	地域包括ケアシステムの深化に関する取り組みにより、計画期間において2%程度の増を目指す	福祉保険課
		ボランティア活動等をしている町民の割合	住民意識調査	「ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか」という質問に対し、「現在活動している」と回答した者の割合	8.7%	2019	10%	ボランティア養成講座等の取り組みにより、計画期間において2%程度の増を目指す	福祉保険課
4	高齢者福祉	第1号被保険者数のうち介護認定を受けていない高齢者の割合	担当課調査	65歳以上の高齢者のうち、介護認定を受けていない方の割合	84.7%	2019	概ね85%を維持	H28年以降減少傾向にあるため、現状維持を目指す	長寿介護課
		介護認定者のうち更新時に介護度が維持若しくは改善した人の割合	介護認定審査会運営実態調査	更新対前回認定結果の維持改善の割合(区分変更申請を含む)	60.4%	2019	概ね60%を維持	近年は減少傾向であるため、現状維持を目指す	長寿介護課
5	障がい福祉	障がい者就労支援施設の一般就労数	静岡県障がい福祉計画進捗状況調査	就労系サービス利用者のうち、単年度において一般就労した人数	7人	2019	10人	コロナ禍の影響を想定し、障がい福祉計画の目標値を基に、現状に比べ3名の増を目指す	福祉保険課
		相談支援事業所の相談件数	福祉行政報告例	相談支援事業における年間の相談支援件数	6,015件	2019	8,800件	直近の実績値を基に、相談体制の強化により、毎年前年比10%程度の増を目指す	福祉保険課

施策分野別成果指標の定義等

施策分野	成果指標	測定方法・出典等	定義	現状値	現状値把握年	目標値 (2025)	目標値設定の考え方	備考
6	子育て支援が充実していると思う子育て世代の割合	住民意識調査	子育てをしている者に対する「子育ての環境や支援に満足しているか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	—	—	概ね75%以上を維持	直近に実施した類似アンケートの結果を踏まえ、同程度の割合の維持を目指す	こども未来課
	待機児童数	保育所等利用待機児童数調査	毎年度4月1日時点の待機児童数	2人	2020	0人を維持	R2年度までの施設整備によりR3年度の待機児童解消が見込まれるため、以降の待機児童解消の維持を目指す	こども未来課
	園の活動に満足している保護者の割合	幼稚園教育アンケート 町立保育園園評価アンケート 町立こども園園評価アンケート	「園の活動については全体的に満足しているか?」という質問に対して、「満足している」「ほぼ満足している」と回答した者の割合	—	—	概ね90%を維持	毎年実施している類似アンケートの結果を踏まえ、同程度の割合の維持を目指す	こども未来課
7	学校が楽しいと思っている児童・生徒の割合	学校評価	児童・生徒が「学校が楽しい。」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	89.6%	2019	概ね90%を維持	毎年実施している類似アンケート結果を踏まえ、同程度の割合の維持を目指す	教育推進課
	学校に子どもを安心して行かせている保護者の割合	学校評価	保護者が「学校に子どもを安心して行かせることができる。」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	—	—	概ね90%を維持	過去に実施した類似アンケート結果を踏まえ、同程度の割合の維持を目指す	教育推進課
	全国学力・学習状況調査における児童・生徒の平均正答率の状況	全国学力・学習状況調査	全国平均を100とした場合の長泉町の各教科の平均との比較値	小6国語103.4 小6算数102.1 中3国語103.0 中3数学107.0 中3英語108.9	2019	100以上	全国学力・学習状況調査において、全国の平均正答率以上の維持を目指す	教育推進課
8	生涯学習機会や生涯学習に関する支援が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	「生涯学習機会の充実や活動支援」について「満足」「ほぼ満足」と回答した者の割合	28.5%	2020	40%	毎年実施している類似アンケートの結果を踏まえ、計画期間での10%程度の増を目指す	生涯学習課
	地域の教育力向上事業等の講師、指導者、ボランティア人数	担当課調査	年間の放課後子ども教室、わんぱく通学合宿、地域学校協働本部の講師等の人数の合計	627人	2019	650人	地域教育力の強化により、計画期間において毎年5名程度の増を目指す	生涯学習課
9	町の各種審議会等の女性委員等の割合	静岡県男女共同参画白書	各課の審議会等の委員のうち、女性委員の割合	31.8%	2019	35%	引き続き審議会において30%の女性委員の任用を進め、計画期間内において3%程度の増を目指す	生涯学習課
	人権尊重の意識が生活の中に定着していると感じる町民の割合	住民意識調査	「あなたは人権尊重の意識が生活の中に定着していると感じていますか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	—	—	50%	静岡県の実施する直近の同様のアンケート結果(48.2%)を踏まえ、同程度の割合を目指す	行政課

施策分野別成果指標の定義等

施策分野	成果指標	測定方法・出典等	定義	現状値	現状値把握年	目標値 (2025)	目標値設定の考え方	備考	
10	商工業	製造品出荷額	工業統計調査	経済産業省が実施する工業統計調査の数値	4,441億円	2019	4,500億円	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、現状からの微増を目指す	産業振興課
		町による支援(相談・起業資金支援等)を受けて起業した年間件数	担当課調査	起業支援セミナーやワンストップ経営相談窓口の参加者や起業・創業支援事業費補助金の申請者数等	6件	2019	10件	多様な働き方の推進により、計画期間内において、年4件程度の増を目指す	産業振興課
11	農業	認定農業者数	担い手の農地利用集積状況調査	年度末時点の認定農業者の人数	15人	2019	18人	現状を踏まえ、計画期間内での3名程度の新規就農者の増を目指す	産業振興課
		町内産の農畜産物を日頃食べている町民の割合	住民意識調査	「あなたは日頃町内産の農畜産物を食べていますか」という質問に対して、「食べている」と回答した者の割合	—	—	40%	国の実施する類似のアンケート結果(39.8%:農林水産省「地産地消に関する意識・意向調査」を踏まえ、同程度の割合を目指す	産業振興課
12	観光・交流	観光交流客数	県観光交流客数調査	県が実施する観光交流客数調査の数値	287千人	2019	320千人	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で数値が落ち込む前のピーク値程度を目指す	産業振興課
		にぎわい交流イベントの開催数	担当課調査	1年間に町広報に掲載された大規模イベント(200名程度の不特定多数を対象)の数	19回	2019	25回	鮎壺公園の完成による交流イベントの増加により5回程度の増を目指す	産業振興課
13	道路	都市計画道路の整備率	静岡県の都市計画(資料編)	都市計画道路総延長のうち改良済及び概成済延長の割合	76.9%	2019	80%	計画期間の事業費をもとに、年0.5%程度の増を目指す	建設計画課
		生活道路が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	「あなたは生活道路が充実していると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	—	—	50%	類似のアンケートの結果(35.7%)を踏まえ、計画期間で15%程度の増を目指す	工事管理課
14	公共交通	公共交通が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	日頃公共交通を利用している町民のうち「公共交通が充実していると思いますか」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した者の割合	—	—	30%	類似のアンケート結果(約14%)を踏まえ、地域公共交通計画に基づき、計画期間において15%程度の増を目指す	企画財政課
		コミュニティ交通の利用者数	担当課調査	コミュニティバス・デマンドタクシーの年間利用者総数	39,098人	2019	50,000人	地域公共交通計画に基づき、今後コミュニティバスの路線増を見込み、年間10,000人程度の増を目指す	企画財政課
15	生活空間	市街化区域における町民1人当たりの都市公園面積	都市公園等整備現況調査	町民一人に対する市街化区域内の都市公園面積を住民基本台帳人口で除したものの	1.45㎡/人	2019	2.10㎡/人	鮎壺公園等の整備により、市街化区域内の公園面積の約2.6ha増を目指す	建設計画課
		今後も町内に住みたい町民の割合	住民意識調査	「あなたは今後も長泉町に住みたいですか」という質問に対して、「ずっと住みたい」「できれば住みたい」「町内の他地区に住みたい」と回答した者の割合	82.2%	2020	概ね80%を維持	毎年実施している類似アンケートの結果を踏まえ、同程度の割合の維持を目指す	建設計画課
16	環境	町民1人1日当たりのごみ排出量	一般廃棄物処理基本計画	全ごみ量を人口と日数で除したものの	688g	2019	670g	食品ロス防止等の取り組みにより、計画期間内において10g、年2g程度の削減を目指す	くらし環境課
		資源化率(全ごみの中の資源物の割合)	一般廃棄物処理基本計画	ごみ全体の総量のうち資源ごみの量の割合	25%	2019	27%	ごみ総量は増加することが見込まれるため、実質的な資源ごみの量を増やすことで割合としては現状維持を目指す	くらし環境課
		温室効果ガス排出量	長泉町地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)	長泉町内全体の二酸化炭素、メタン等の温室効果ガスの排出量を二酸化炭素に換算したものの	59万7000t	2016	47万9500t	基準年度であるH25年度から年1.65%の削減を目指す	くらし環境課
		下水道整備率	担当課調査	下水道事業の全体計画面積のうち整備が完了した面積の割合	64%	2019	68%	近年の整備進捗速度を維持し、年0.8%程度の増を目指す	上下水道課

施策分野別成果指標の定義等

施策分野	成果指標	測定方法・出典等	定義	現状値	現状値把握年	目標値 (2025)	目標値設定の考え方	備考	
17	コミュニティ・協働	自治会加入世帯の割合	担当課調査	年度当初に各自治会から提出される加入数の総合計を住民基本台帳人口で除したもの。	87%	2020	概ね85%を維持	今後もある程度の世帯増が見込まれる中、他市町に比べ高水準である現状の割合について現状維持を目指す	行政課
		まちづくり活動団体数	担当課調査	1年間の協働によるまちづくり補助金を活用した団体の数	2団体	2020	10団体	制度の見直し等により、計画期間において年10団体程度の活用を目指す	企画財政課
18	防災	防災対策に取り組んでいる町民の割合	住民意識調査	「防災対策に取り組んでいますか」という質問に対して、「取り組んでいる」と回答した者の割合	—	—	70%	毎年実施している類似アンケートの結果(61.2%)を踏まえ、啓発を継続し、年2%程度の割合増を目指す	地域防災課
		災害に関するメールやSNS等の登録者数	担当課調査	防災メール、フェイスブック、ツイッター、LINE、インスタグラムの町の公式アカウントの登録者総数	9,000人	2020	13,000人	新規登録者を年800人、計画期間において4,000人の増、町民の約30%の登録を目指す	地域防災課
		未耐震住宅の除却数	担当課調査	S56年5月以前建築の住宅(未耐震化住宅)のうち、除却届出数及び補助事業等利用件数の延べ件数	—	—	100件	補助金の新設等により、計画期間において20件/年の除却を目指す	建設計画課
19	防犯・交通安全	年間交通事故の発生件数	交通のあらまし	町内における1年間の交通事故発生件数	254件	2019	200件	交通安全対策の強化により計画期間において50件程度の減を目指す	地域防災課
		年間刑法犯認知件数	警察のあらまし ～犯罪の発生状況～	町内における1年間の刑法犯認知件数	224件	2019	200件	防犯対策の強化により計画期間において25件程度の減を目指す	地域防災課

施策分野別成果指標の定義等

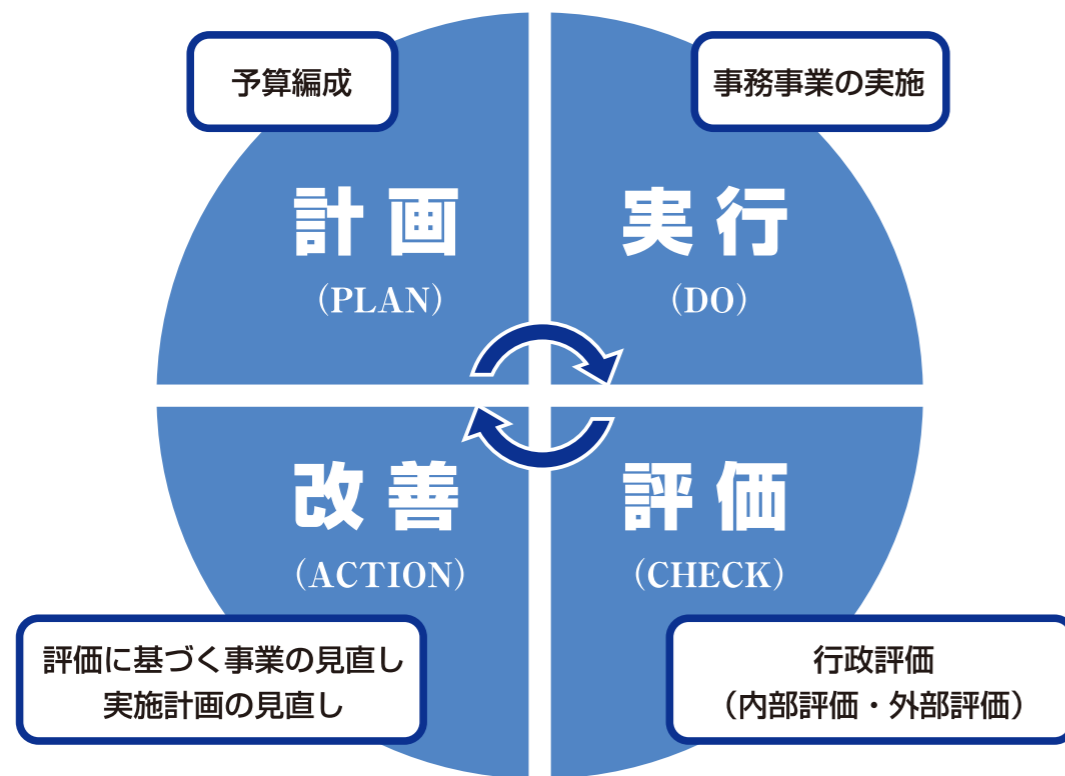
戦略	成果指標	測定方法・出典等	定義	現状値	現状値把握年	目標値(2025)	目標値設定の考え方	備考
様々な情報媒体による情報共有の強化	広報、SNS、新聞等情報媒体から町の情報を得ている町民の割合	住民意識調査	「あなたは町の情報を入手しているために利用しているものはどれですか?」という質問に対して、「入手していない」と回答した方及び無回答以外の者の割合	96.3%	2020	概ね95%を維持	今後もある程度の人口増が見込まれる中、情報媒体の充実により、現状と同程度の割合の維持を目指す	行政課
	まちに愛着を持っている町民の割合	住民意識調査	長泉町の印象について「愛着をもっている」という質問に対して、「そう思う」「ややそう思う」と回答した合計	73.5%	2020	概ね70%を維持	今後もある程度の人口増が見込まれる中、町の魅力発信により、現状と同程度の割合の維持を目指す	行政課
時代に対応した柔軟な組織体制の構築	人口1,000人当たり職員数	市町の指標	各年度の地方公共団体定員管理調査(各年度4月1日現在)に基づく普通会計職員数/各年1月1日現在の住民基本台帳人口×1,000	5.1人	2019	5.5人	職員採用計画に基づき、計画期間において、5名程度の職員増を目指す	行政課
	男性職員の育児休業取得率	担当課調査	各年度に配偶者が出産した男性職員のうち、2週間以上の育児休業を取得した者の割合	20%	2019	40%	制度の周知を図り、対象者のうち概ね2名の育児休業取得を目指す	行政課
持続可能な行財政運営の推進	町税収納率	税務概要	課税対象の当該年度分及び滞納繰越分のうち納付された町税の割合 調定額(現年+滞納繰越)/収入済額	97.1%	2019	97.7%	収納体制を強化し、計画期間において0.6%程度の収納額増を目指す	税務課
	経常収支比率	地方財政状況調査	人件費、物件費等の経常的経費に充てられている町税等の経常的な経費である一般財源の割合	74.6%	2019	70~75%	国の示す健全な財政基準の維持を目指す	企画財政課
	自主財源比率	地方財政状況調査	町の歳入に対する町税等の自主財源等の割合	74.8%	2019	概ね75%を維持	今後の先行きが不透明な中で、現状値の維持を目指す	企画財政課
時代に則した行政サービスの提供	オンラインによる手続き数	担当課調査	既存の電子申請又はマイナンバーを利用した電子申請手続き数	29件	2020	200件	計画期間において、既存の電子申請手続きの120件程度の増に加え、個人認証型の電子手続きについても40件程度の増を目指す	企画財政課
	コンビニ交付利用率	担当課調査	一年間の住民票等の発行総数のうちのコンビニ交付による発行率	3.1%	2019	40%	マイナンバーカードの利活用のPRにより、R2年度以降毎年約3.5%(3,000枚/年間)の増を目指す	住民窓口課
	マイナンバーカード普及率	マイナンバーカードの申請受付状況	地方公共団体情報システム機構提供のマイナンバーカードの申請受付状況	14.4%	2019	90%	申請体制の充実により、R3年度までに概ね60%を目指し、計画最終年時点において約39,000人の取得を目指す	住民窓口課
	電子決済による納付件数	担当課調査	納付書納付のうち、クレジット決済等(クレジット、PayPay、LinePay他)電子決済の利用件数	545件	2019	3,000件	計画期間において毎年500件程度の利用者増を目指す	税務課
積極的なデータ活用	オープンデータ掲載件数	静岡県内オープンデータ公開データセット数調べ	オープンデータカタログ掲載のカタログ数	6件	2020	20件	他自治体の事例から有効と思われるカタログデータについて、計画期間において15件程度の新規掲載を目指す	企画財政課
行政事務の改善	ペーパーレス会議の割合	担当課調査	内部の定例的な会議のうち、会議システムを利用し、開催された会議の割合	23.5%	2020	100%	職員端末のモバイル端末への移行及び会議システムの導入より、職員間の会議については原則ペーパーレスとすることを目指す	企画財政課
	ペーパーレス進捗率(庁内主要印刷物印刷枚数)	担当課調査	各フロアに配備した複合機の印刷枚数の実績について、R2年度実績を100%とした場合の割合	100%	2020	20%	町民向けの外部資料の作成等を除き、個人端末のモバイル端末への移行、電子ファイリングシステム、電子決済システム、手続きのオンライン化により80%の削減を目指す	企画財政課

計画の実現に向けた進行管理

総合計画を着実に推進するため、3年間を計画期間とする実施計画を起点とするマネジメントサイクルを確立し、社会情勢の変化や国の制度改正等に対応するため、行政評価を活用したローリング方式により、実施計画を毎年度見直します。

また、行政評価においては、計画に基づき実施する施策、事業等の取り組みについて、成果指標の進捗をベースとし、庁内の内部評価だけでなく、外部評価も取り入れることで、より客観性の高い評価と改善策の検討をすることで、継続的な計画の進行管理を行うとともに、主な施策における進行具合を図るため、町民の満足度を把握するための住民意識調査を毎年度実施します。

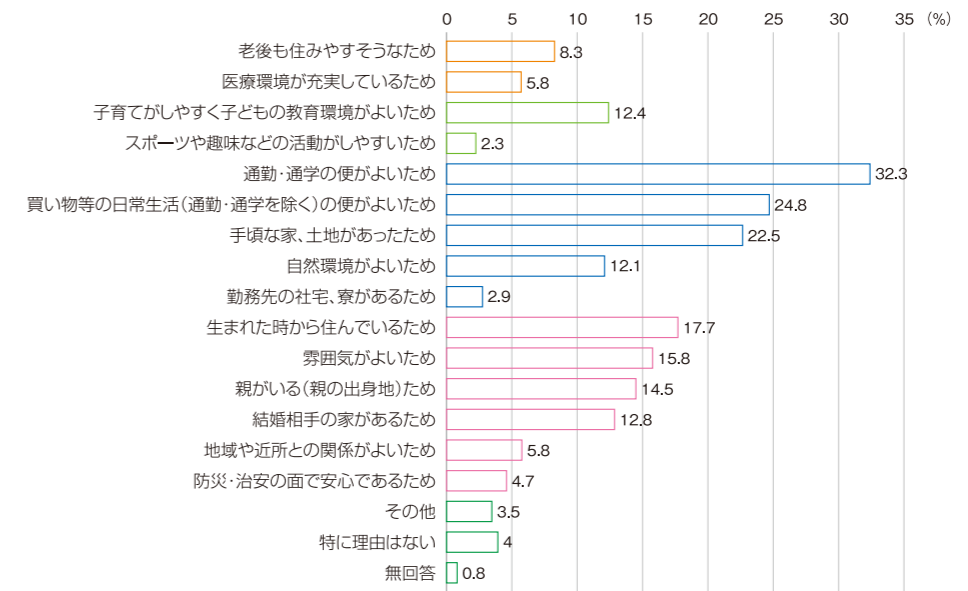
計画の進行管理イメージ



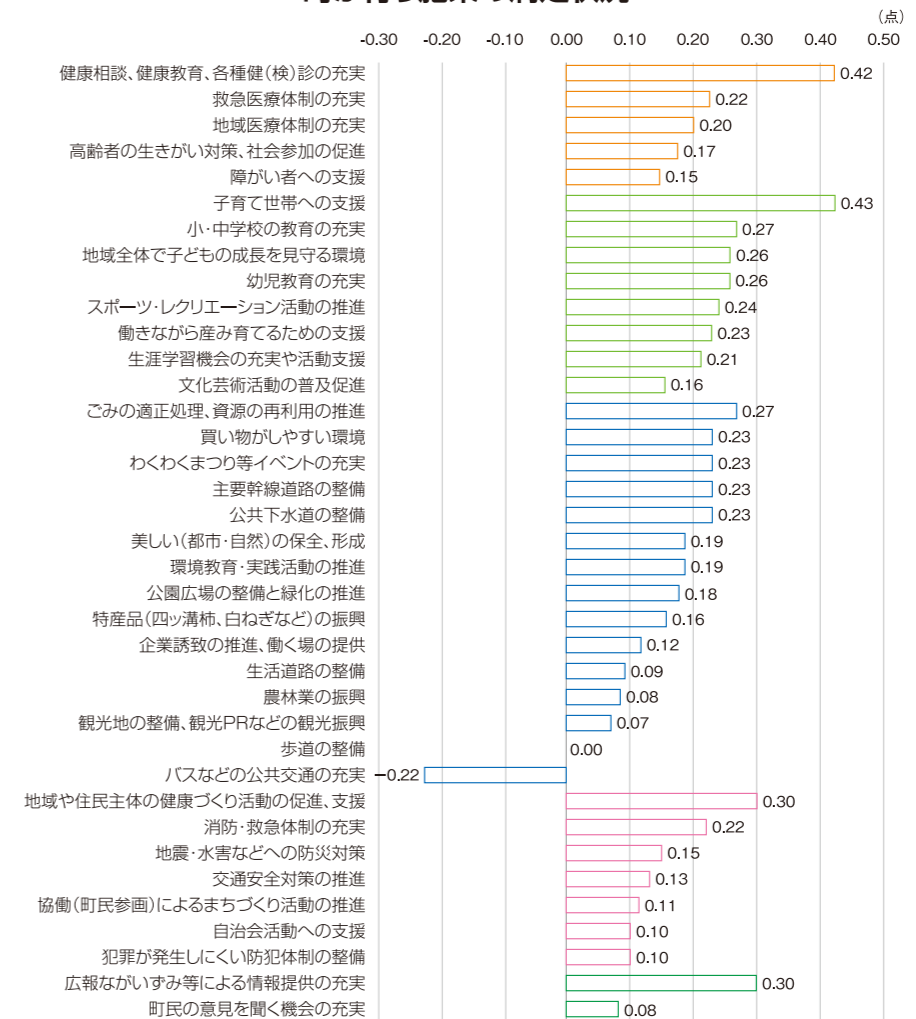
長泉町の魅力と課題

1. 令和2年度住民意識調査

現在の地域に住んでいる理由



町が行う施策の満足状況



※該当する基本目標及び推進目標ごと色分けをしています 凡例: 優 (黄) 育 (緑) 豊 (青) 安 (赤) 推進目標 (紫)

長泉町の魅力と課題

2. アンケート調査

■ 中学生アンケートの主な意見

- 図書館の蔵書数を増やしてほしい
- 公共交通を充実させてほしい
- 地域イベントをもっと充実させてほしい
- 地区外の方との交流の場が欲しい
- バス・電車・レンタサイクルなどを増やしてほしい

■ 団体アンケートの主な意見

- 活動団体の高齢化が進んでいる
- 次世代を担う若者達の社会性や地域性、自信をつけさせる活動が必要
- 少子高齢化が進み、地域の果たす役割が大きくなっている

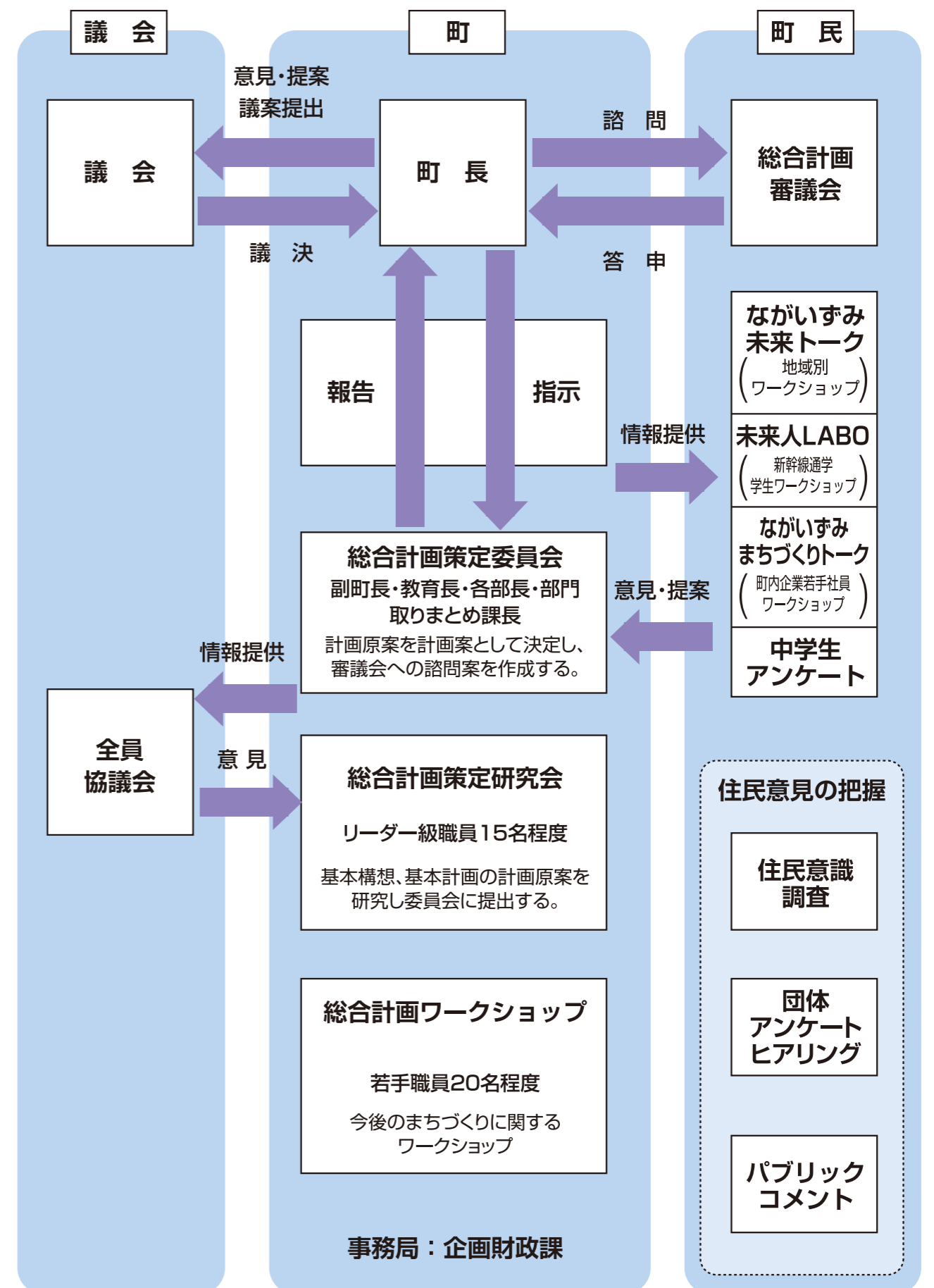
3. タウンミーティング(ながいずみ未来トーク)



■ 主な意見

- 介護する人、される人のサポートや心のケアを充実させていく必要がある
- もっと災害を意識した防災訓練の実施や避難所の位置づけをすべき
- 世代間コミュニケーションが促進されるようなイベントを増やす必要がある

第5次総合計画策定体制



第5次総合計画策定経過

令和元年度

6月21日	総合計画策定キックオフ会議
22日	第1回長泉未来トーク(町民ワークショップ)@下長窪公会堂
7月17日	第1回総合計画策定委員会
26日	若手職員ワークショップ
27日	第2回長泉未来トーク@南一色公民館
8月5日	第1回総合計画策定研究会
21日	第1回総合計画審議会
23日	第2回総合計画策定研究会
24日	第3回長泉未来トーク@中土狩第一公民館
9月17日~30日	中学生アンケート(長中・北中各学年1クラス 計6クラス 計190名)
22日	第4回長泉未来トーク@防災センター多目的室
25日	第2回総合計画策定委員会
10月1日	第3回総合計画策定研究会
5日	第5回長泉未来トーク@南部地区センター
16日	第3回総合計画策定委員会
21日	基本構想案諮問
29日	第2回総合計画審議会
11月14日	第3回総合計画審議会
20日	第4回総合計画策定委員会
12月10日	第4回総合計画審議会
16日~1月15日	基本構想案パブリックコメント 意見募集結果 6件
2月6日	第5回総合計画審議会
28日	基本構想案答申
3月10日~4月9日	団体アンケート(24団体/27団体)

令和2年度

4月24日	若手職員ワークショップ
7月7日	第1回総合計画策定研究会
15日	第1回総合計画策定委員会
22日	第2回総合計画策定研究会
29日	第2回総合計画策定委員会
8月4日	第1回総合計画審議会
12日	第3回総合計画策定研究会
19日	第3回総合計画策定委員会
21日	第4回総合計画策定研究会
24日	第4回総合計画策定委員会
27日	第2回総合計画審議会
9月17日	第5回総合計画策定研究会
23日	前期基本計画案諮問
	第5回総合計画策定委員会
25日	第3回総合計画審議会
10月12日	第4回総合計画審議会
14日	第6回総合計画策定委員会
23日	第7回総合計画策定委員会
29日	第5回総合計画審議会
11月12日	第6回総合計画審議会
18日	第8回総合計画策定委員会
26日	町議会全員協議会への説明
12月15日	町議会において基本構想の議決
18日	前期基本計画案答申
25日~1月25日	前期基本計画案パブリックコメント 意見募集結果 14件
3月	第5次総合計画の決定

諮問・答申

長 企 財 第 85 号
令和元年10月21日

長泉町総合計画審議会
会長 中山 勝 様

長泉町長 池 田 修

第5次長泉町総合計画（基本構想）について（諮問）

当町における総合的かつ計画的な行政運営の指針となる第5次長泉町総合計画の基本構想案を作成しましたので、長泉町総合計画審議会条例第2条に基づき、別添のとおり諮問します。

令和 2 年 2 月 28 日

長泉町長 池田 修 様

長泉町総合計画審議会
会長 中山 勝

第5次長泉町総合計画（基本構想）について（答申）

人口減少や少子高齢化が進展する中、長泉町においては地理的条件に加え、住民に視点を置いた独自の取組を行い全国から注目されています。この対応とプロセスについては、今後ますます重要な課題と捉えることができます。

また、総合計画を押し進める主体である「住民」を中心に添え、よりわかりやすく、積極的に行動に結びつく政策が明確となっています。さらに、今後行政が求められるスマート自治体への取組についても言及されており、本計画（案）は概ね評価でき、内容も妥当と認めます。

これに延べ5回開催した当審議会の意見を加え「第5次長泉町総合計画基本構想（修正案）」を取りまとめましたので、下記の意見、要望等を付記し答申します。

記

- ・今回の基本構想は4つの基本目標と8つの政策から成り立っています。この基本目標と政策は項目別に独立しているのではなく、すべて横のつながりを持っています。今後の基本計画策定時には、「目指すまちの姿」を基本理念とし、キーワードである「優」「育」「豊」「安」はすべて関連し合っているという考えのもと、具体的な政策は横ぐしで検討していただきたい。
- ・本計画を多くの町民が理解して、関係団体等と協働で取り組むとともに「まち・ひと・しごと総合戦略」と併せ各分野の諸施策を計画で終わらせず、着実に実行していくことを希望します。
- ・財政基盤が強固な長泉町ではありますが、人口減少と高齢化が同時進行する流れはまったなしの状況です。事業の実現性と効果がより把握できるのがデジタルを視点においた行政、スマート自治体です。デジタルファーストによる事業展開は、より効率的な行政運営をもたらします。さらに地域外の人々への情報提供にも繋がり、都市ブランドの浸透を図ることができます。そのためにも、推進目標にも掲げられたスマート自治体を積極的に展開していただきたい。
- ・本審議会の審議の過程において、各委員から建設的な意見や提案があった事柄について、今後の基本計画や実施計画などにおいて、これらの意見等を十分踏まえて取り組むことを要望します。
- ・今後、計画書などを冊子として取りまとめるにあたっては、多くの町民が語るできるよう、町民の視点にたった具現化した事業の記載や表現の工夫を望みます。

以上

長企財第102号
令和2年9月23日

長泉町総合計画審議会
会長 中山 勝 様

長泉町長 池田 修

第5次長泉町総合計画＜前期基本計画＞について（諮問）

当町における総合的かつ計画的な行政運営の指針となる第5次長泉町総合計画の前期基本計画の案を作成しましたので、長泉町総合計画審議会条例第2条に基づき、別添のとおり諮問します。

令和2年12月18日

長泉町長 池田 修 様

長泉町総合計画審議会
会 長 中 山 勝

第5次長泉町総合計画<前期基本計画>について（答申）

令和2年9月23日付け長企財第102号で諮問のありました、第5次長泉町総合計画前期基本計画(案)については、延べ4回にわたり慎重に審議を行った結果、概ね評価でき、内容も妥当と認め、下記のとおり当審議会の意見、要望等を付記し答申いたします。

また、計画の推進にあたっては、第5次長泉町総合計画基本構想(案)で定めた目指すまちの姿に込めた想いのもと、町民と行政が一体となり着実に取り組んでいただけるようお願いいたします。

記

優 政策1 健康で幸福を実感できるまちの実現について

- ・社会問題となっているストレス等によるこころの病への対応のため、住民のメンタルヘルスに関する施策の充実を図っていただきたい。
- ・より効果的に住民の健康データの活用を図っていくために、大学等外部機関と連携した取組みを推進していただきたい。

政策2 認め合い支え合うまちの実現について

- ・高齢者が増加する中、介護人材の不足が懸念されていることから、人材の養成・確保に重点的に取り組んでいただきたい。
- ・元気な高齢者についても、老々介護等の問題もあることからメンタルケア等の見守る仕組みについて検討していただきたい。
- ・高齢者の生きがいづくりのため、若い世代と交流できる仕組みについて検討していただきたい。

育 政策3 未来につながる子育て・教育環境の実現について

- ・2人目を出産する際のハードルが高いと思われるため、出産の希望を叶える環境づくりを進めていただきたい。
- ・子育て環境の充実のため、男性が子育ての担い手として積極的に子育てに関わるための取組みについて検討していただきたい。
- ・学習だけではなく、文化・音楽等の情操教育や子どもの特性や性格を尊重した取組みについて検討していただきたい。また、子どもたちが郷土愛を育む機会を増やす取組みについても検討していただきたい。

政策4 自分らしく活躍できるまちの実現について

- ・コミュニティセンターや図書館について、それぞれの目的を持って訪れた人が交流できる取組みについて検討していただきたい。
- ・人権教育については、学校教育だけではなく、家庭の中でも一緒に考える、話し合うことができるような取組みについて検討していただきたい。

豊 政策5 持続的に発展するまちの実現について

- ・既存企業の転出防止強化について、金融機関等と連携した取組みを推進していただきたい。
- ・町内の中小企業等の支援や情報発信の強化につながる施設整備について検討していただきたい。
- ・農業を維持するためにも、鳥獣対策の強化を図ることで、森林の保全にも努めていただきたい。
- ・農業の担い手の確保について、関係団体等との連携による、住民が農業に親しむ仕組みづくりを進めていただきたい。
- ・農業と観光のマッチングによる関係人口創出の取組みについて検討していただきたい。
- ・ふるさと納税における体験型返礼品を活用した交流創出について検討していただきたい。

政策6 快適で便利なまちの実現について

- ・公共交通について、高齢者の利用に重点を置くだけでなく、高校生や子どもなども含めた様々な世代の観点から総合的に検討していただきたい。また、具体的な検討は、交通事業者との連携とともに、住民も巻き込んで進めていただきたい。
- ・ごみの分別の細分化の意味や効果等について住民に情報発信するとともに、環境教育についても進めていただきたい。

安 政策7 共につくる活発なまちの実現について

- ・自治会の体制維持が困難な状況も見られる中、自治会の運営については、時代に即した新たな体制や仕組みについて検討していただきたい。

政策8 助け合いのちを守るまちの実現について

- ・新型コロナウイルス感染症に対応した安否確認や避難所運営といった時代に即した防災訓練の実施方法について検討していただきたい。
- ・街中に常に人がいることが防犯につながるため、高齢者の居場所づくり等と総合的な取組みとして街中に常に人がいる環境づくりを進めていただきたい。
- ・地域をあげての防犯体制が重要であることから、犬の散歩やランニング等の外出の機会を活用した防犯見守り活動について検討していただきたい。

推進目標：町民との情報共有に支えられた効率的な行財政運営について

- ・情報発信については、町内だけではなく町外に向けた取組みについても検討していただきたい。
- ・デジタル化の推進も含め、行政手続きのスピード化について取組みを進めていただきたい。

全体について

- ・取組みに対する成果について「見える化」をするとともに、住民にも情報発信し共有していただきたい。

長泉町総合計画審議会 委員名簿 (五十音順、敬称略)

会 長	中 山 勝	(一財)企業経営研究所
副 会 長	白 砂 清 一	長泉町商工会
	飯 塚 茂	長泉町文化協会
	井 出 康	三島地区労働者福祉協議会長泉支部
	稲 田 康 明	ながいずみ観光交流協会
	岩 田 理 沙	長泉未来人定住応援事業登録者
	大 川 由 紀 子	ネットワークながいずみ
	尾 崎 和 美	元長泉町教育委員会教育委員
	勝 又 佳 代	公募
	杉 山 正 則 (杉 本 武 司)	静岡銀行長泉支店
	諏 訪 部 豊	NPO法人 長泉町スポーツ協会
	千 葉 寿 子	特種東海製紙(株)Pam
	中尾田真由美	公募
	永 井 寛	(福)長泉町社会福祉協議会
	原 孝 雄	長泉町民生委員・児童委員協議会
	平 瀬 清 人 (八 田 稔)	シニアクラブ長泉
	宮 内 亨 (鈴 木 行 衛)	長泉町区長連絡協議会
	山 田 勝	長泉町議会
	山 本 一 貴	長泉町医師クラブ
	渡 邊 偉 (渡 邊 隆 司)	長泉町農業委員会

※()はR2.3.31までの委員

第5次長泉町総合計画

【発行】長泉町

〒411-8668 静岡県駿東郡長泉町中土狩828番地

TEL/055-986-2131 FAX/055-986-5905

<https://www.town.nagaizumi.lg.jp>

令和3年3月

ちょうどいいが
いちばんいい
Nagaigumi

近ごろ、世の中、〇〇すぎるが多すぎる。

目立てばいいというわけではありません。そこへきて、この長泉町です。

静岡県なのに、東京まで小一時間。地方なのに財政が豊か。

緑が多いのになんだか都会。

産業は充実してるし、少子化の時代でも、子どもが多い。

有名じゃないのに、すごく暮らしやすい。

長泉町は、一長一短のないきわめてバランスに優れた都市なのです。

ながく住むなら、やっぱりこういう町がいいですよ。

え？それでも何か目立つ特徴がほしかった？

いえ、欲をかいてはいけません。ちょうどいいが、いちばんいいんです。

あなたに、みんなに、もっと“ちょうどいい”町にしていきませんか。